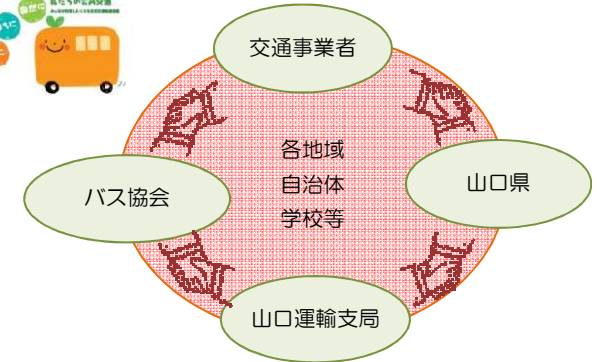


公共交通教室開催の取組み

平成24年3月



少子高齢化・過疎化、マイカーへの過度の依存など、生活スタイルの変化等に伴って、公共交通機関の利用者が減少傾向にある中、「みんなが利用したくなる生活交通推進会議」では「公共交通教室」の開催を積極的に取り組んでいるところですが、その活動への理解や必要性が教育現場にも浸透しつつあります。

近年、開催依頼や参加者は増加傾向にあり、また、教室開催と合わせた遠足やキャンプなど路線バスの利用を定期的実践する行事も行われています。

バス部門



小学校授業でのバス教室



安全学習



特別支援学校でのバス教室
(立ち席体験)



イベントでのバス教室



教室終了後の路線バスでの遠足



車椅子バリアフリー学習

鉄道部門



錦川鉄道でのイベント



車両内での教室



心のバリアフリー体験



車両点検作業

- 小学校の授業、児童クラブ活動、各種イベント（保護者・高齢者を含む）等にて開催
- ★ 子ども（児童）や高齢者に対するバスの乗り方、公共マナー、バリアフリー、交通安全教育を実施（児童の自立支援含む）
- ★ 地域の各種イベント会場などにおいて、来場者や子どもを含めた地域住民に対する公共交通利用促進への意識向上
- ★ 学校行事（遠足）や地域活動（キャンプ等）において、バス教室と一連開催による路線バス利用の実践
- ★ バスを含めた地方公共交通の実態（衰退）の説明及びその解決策として利用促進が最も重要との呼びかけ〔広報活動〕